

①大阪市の地域福祉のあり方についての世論調査（案）

大阪市では、平成 30 年 3 月に「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」を基本理念とした大阪市地域福祉基本計画を策定しました。多様な人々が暮らし、働き、学び、訪れる地域で、だれもが自分らしく安心して生活していくために、住民や行政をはじめ、地域に関わるすべての人の力をあわせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活を共に楽しむ地域を作り上げていくという「地域福祉」の考えに基づく取り組みを進めています。

この調査は、「地域福祉」について、みなさまのご意見をお聞きして、今後の施策の参考にするものです。どうか、日頃のお考えを率直にお聞かせください。

※あなたのお考えに近い答えがないときや、答えられないとき、あるいは、答えたくないときは、空白のままで結構です。

【Ⅰ だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりについて】

質問 1. いまお住まいの地域について「暮らしやすい」と感じていますか。あなたの考えにいちばん近い答えに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 感じる
- ☐ 2. ある程度感じる
- ☐ 3. あまり感じない
- ☐ 4. 感じない

〔質問 1 で「1. 感じる」「2. ある程度感じる」と答えた方にお聞きます。〕

質問 1－1. あなたは、お住まいの地域のどのようなところに「暮らしやすさ」を感じていますか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 近くに家族、親類がいるところ
- ☐ 2. 近所付き合いや地域とのつながりがあるところ
- ☐ 3. 地域活動やボランティア活動が活発なところ
- ☐ 4. 福祉や医療サービスが充実しているところ
- ☐ 5. 買い物や通勤・通学など日常生活が便利なところ
- ☐ 6. 静けさや緑が多いなど、環境がよいところ
- ☐ 7. 治安がよいなど、安心して住めるところ
- ☐ 8. 公共施設や道路のバリアフリーが進んでいるところ
- ☐ 9. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実しているところ
- ☐ 10. その他（具体的にお書きください：_____）

質問 2. お住まいの地域がより暮らしやすい地域であるために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 近くに家族、親類がいること
- ☐ 2. 近所付き合いや地域とのつながり
- ☐ 3. 活発な地域活動やボランティア活動
- ☐ 4. 福祉や医療サービスの充実

- ☐ 5. 買い物や通勤・通学など日常生活の便利さ
- ☐ 6. 静けさや緑が多いなどの環境のよさ
- ☐ 7. 安心して住める治安のよさ
- ☐ 8. 公共施設や道路のバリアフリー化
- ☐ 9. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設の充実
- ☐ 10. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 11. わからない

【Ⅱ 地域での支え合い・助け合いについて】

質問 3. 現在、生活している中で地域との「つながり」を感じることがありますか。

- ☐ 1. よくある
- ☐ 2. たまにある
- ☐ 3. あまりない
- ☐ 4. ない

〔質問 3 で「1. よくある」「2. たまにある」と答えた方にお聞きます。〕

質問 3 - 1. 地域との「つながり」を感じるのはどのようなときですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 近所の人とあいさつをするとき
- ☐ 2. 近所の人に日常の見守りや声かけをされたとき
- ☐ 3. 地域の人に困りごとなどの相談をする（相談にのる）とき
- ☐ 4. お祭りなどの地域の行事に参加するとき
- ☐ 5. 地域活動やボランティア活動に参加するとき
- ☐ 6. その他（具体的にお書きください：_____）

質問 4. 過去 1 年以内で、あなたと同じ地域にお住まいの方に日常生活のことで、質問 4 - 1 の選択肢のような手助けをしたことはありますか。

- ☐ 1. したことがある
- ☐ 2. したことはないが、したいと思う
- ☐ 3. したことはないし、したいとも思わない

〔質問 4 で「1. したことがある」「2. したことはないが、したいと思う」と答えた方にお聞きます。〕

質問 4 - 1. 次のうちどのようなことで手助けをしましたか。また、今後手助けしたいと思いますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 日常の見守りや声かけ
- ☐ 2. 食事などのおすそわけ
- ☐ 3. ゴミ出し
- ☐ 4. ちょっとした買い物の手伝い
- ☐ 5. 子守りや子どもの遊び相手

- ☐ 6. 話し相手、相談相手
- ☐ 7. 電球の交換などのちょっとした雑事
- ☐ 7. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い
- ☐ 8. 外出や通院の手伝い
- ☐ 9. 病気のときの看病や世話
- ☐ 10. 災害時の手助け
- ☐ 11. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 12. 特にない

質問 5. 過去 1 年以内で、あなたと同じ地域にお住まいの方に、日常生活のことで手助けされたことはありますか。

- ☐ 1. されたことがある
- ☐ 2. されたことがない

質問 6. あなたが地域の方に手助けしてもらいたいこと（手助けしてもらっていること）は、どのようなことですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 日常の見守りや声かけ
- ☐ 2. 食事などのおすそわけ
- ☐ 3. ゴミ出し
- ☐ 4. ちょっとした買い物の手伝い
- ☐ 5. 子守りや子どもの遊び相手
- ☐ 6. 話し相手、相談相手
- ☐ 7. 電球の交換などのちょっとした雑用
- ☐ 7. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い
- ☐ 8. 外出や通院の手伝い
- ☐ 9. 病気のときの看病や世話
- ☐ 10. 災害時の手助け
- ☐ 11. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 12. 特にない

【Ⅲ 地域福祉活動について】

質問 7. 大阪市内各区の小地域（おおむね小学校区）では、住民の創意工夫によりさまざまな地域福祉活動が展開されています。これらの活動は、同じ地域に住む住民が互いに支え合い、すべての人が楽しく、安心して暮らしていけるまちづくりをめざして取り組まれているものです。

次の地域福祉活動のうち、あなたが住んでいる地域で実施されていることを知っているものはどれですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. ふれあい型高齢者食事サービス（高齢者の孤立を防ぐためにおこなう食事サービス）
- ☐ 2. ふれあい喫茶（喫茶を通じて地域で暮らす人たちが集い、交流することができる場）
- ☐ 3. 日常的な訪問などによる見守り活動

- ☐ 4. 地域防災（訓練や地域防災計画策定など）に関する活動
- ☐ 5. 子育てサロン（身近な地域で子育ての悩みや楽しさを地域の方や親同士で共有できる場）
- ☐ 6. 児童の登下校時の見守り活動
- ☐ 7. 折り紙や昔遊びなどを通じた地域の高齢者と子どもとの世代間交流事業
- ☐ 8. その他（具体的にお書きください：.....）
- ☐ 9. すべて知らない

質問 8. あなたは、質問 7 の選択肢にあるような地域福祉活動にどのくらい関心がありますか。

- ☐ 1. とても関心がある
- ☐ 2. ある程度関心がある
- ☐ 3. あまり関心がない
- ☐ 4. 関心がない

質問 9. あなたは、過去 3 年以内に、質問 7 の選択肢にあるような地域福祉活動に参加したことはありますか。

- ☐ 1. 参加している（現在も続けている）
- ☐ 2. 参加したことがある（現在は参加していない）
- ☐ 3. 参加したことはない

〔質問 9 で「1. 参加している」「2. 参加したことがある」と答えた方にお聞きます。〕

質問 9－1. 地域福祉活動に参加されたきっかけは何ですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 友人・知人に誘われたから
- ☐ 2. 活動場所が近所にあったから
- ☐ 3. 内容が楽しそうだったから
- ☐ 4. 健康に良さそうだったから
- ☐ 5. 団体の中に自分の役割があるから
- ☐ 6. 生きがいを得たかったから
- ☐ 7. 地域や社会に貢献したかったから
- ☐ 8. 人と関わりを持ちたかったから
- ☐ 9. 自分の経験・能力を生かすことができると思ったから
- ☐ 10. その他（具体的にお書きください：.....）

〔質問 9 で「1. 参加している」「2. 参加したことがある」と答えた方にお聞きます。〕

質問 9－2. 地域福祉活動に参加した際、どのようなことを負担に思われましたか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 時間が取られること
- ☐ 2. 体力を使うこと
- ☐ 3. 活動内容について相談できる人（機関）がないこと
- ☐ 4. 一緒に参加する仲間がないこと

- ☐ 5. 人間関係が難しいこと
- ☐ 6. その他（具体的にお書きください：.....）
- ☐ 7. 特にない

〔質問 9 で「3. 参加したことはない」と答えた方にお聞きます。〕

質問 9 - 3. どのような理由から、地域福祉活動に参加しなかったのですか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に ✓ 印をおつけください。

- ☐ 1. 時間がないから
- ☐ 2. 健康や体力に自信がないから
- ☐ 3. 関心がないから
- ☐ 4. 活動があることを知らなかったから
- ☐ 5. 活動の内容がよくわからないから
- ☐ 6. 参加の仕方がわからないから
- ☐ 7. 一緒に参加する仲間がいないから
- ☐ 8. 人間関係が難しそうだから
- ☐ 9. その他（具体的にお書きください：.....）
- ☐ 10. 特に理由はない

〔質問 9 で「3. 参加したことはない」と答えた方にお聞きます。〕

質問 9 - 4. どのような地域福祉活動がお住まいの地域で開催されていれば、参加したいと思いますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 日常の見守りや声かけなど住民同士のつながりをつくる活動
- ☐ 2. 子どもや子育て支援に関する活動
- ☐ 3. 高齢者を支援する活動
- ☐ 4. 障がいのある方を支援する活動
- ☐ 5. 地域防災及び防犯などに関する活動
- ☐ 6. 地域の高齢者と子どもとの世代間交流活動
- ☐ 7. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 8. どのような活動でも参加したくない

質問 10. あなたは、過去 3 年以内に、赤い羽根共同募金や社会福祉協議会が実施する善意銀行など地域福祉を目的とした寄付をしたことはありますか。また、寄付をしたいと思いますか。

- ☐ 1. 寄付をしたことがある
- ☐ 2. 寄付をしたことはないが、機会があれば寄付をしたい
- ☐ 3. 寄付をしたことはなく、寄付をしたいとも思わない

〔質問 10 で「1. 寄付をしたことがある」「2. 寄付をしたことはないが、機会があれば寄付をしたい」と答えた方にお聞きします。〕

質問 10－1. どのような手段で寄付をしたことがありますか。寄付をしたことがない方は、どのような手段でなら、寄付をしたいと思いますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 街頭での呼びかけによる募金
- ☐ 2. 公共機関の窓口や店頭などの募金箱への募金
- ☐ 3. インターネットを利用した寄付（クラウドファンディング※、ワンクリック募金※など）
- ☐ 4. 地域福祉活動団体（NPO、ボランティア団体など）の会員になる（会費を払う）
- ☐ 5. 社会福祉法人や NPO などへの金銭や物品の寄付
- ☐ 6. その他（具体的にお書きください：_____）

※クラウドファンディング…アイデアなどを持つ人がインターネットを通じて世の中に呼びかけ、共感する人々から広く資金を集める方法

※ワンクリック募金…ウェブページの決められたところをクリックすると、企業などがクリックされた回数に応じて NPO などの団体に資金を送金する仕組み

〔質問 10 で「1. 寄付をしたことがある」「2. 寄付をしたことはないが、機会があれば寄付をしたい」と答えた方にお聞きします。〕

質問 10－2. どのような目的のためなら、寄付をしたいと思いますか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. ボランティア活動を行う団体の育成や支援
- ☐ 2. こども食堂など子ども子育ての支援
- ☐ 3. 福祉施設で使用するための物品（車いすなど）の購入
- ☐ 4. 福祉教育（福祉の大切さを学ぶ活動）
- ☐ 5. 福祉に関する広報啓発活動
- ☐ 6. 災害時の救助・支援活動
- ☐ 7. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 8. 目的は何でもよい

【IV 災害への備えについて】

質問 11. 避難や救助が必要となる災害が発生した場合、家族や親類以外であなたが頼りにできるとお考えになるものに✓印をおつけください。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 友人や知人、近所の人
- ☐ 2. ケアマネージャーや相談支援専門員、ホームヘルパーなどの福祉サービス事業者
- ☐ 3. 町会、自治会、地域活動協議会、地域社会福祉協議会などの役員
- ☐ 4. 民生委員・児童委員
- ☐ 5. 地域福祉コーディネーター※（地域福祉活動の推進役）
※区ごとに名称が異なる（例：ネットワーク推進員、見守り推進員、地域支援相談員など）
- ☐ 6. 区役所や区の保健福祉センター
- ☐ 7. 区の社会福祉協議会

- ☐ 8. 地域包括支援センターや総合相談窓口（ランチ）
- ☐ 9. 障がい者基幹相談支援センター
- ☐ 10. 病院、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師
- ☐ 11. 消防・警察・自衛隊
- ☐ 12. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 13. 頼りにできる人（機関）はいない
- ☐ 14. わからない

質問 12. お住いの地域で、避難や救助が必要となる災害が発生した場合、高齢者や障がいのある方など避難の支援や生活上の配慮が必要となる人を知っていますか。

- ☐ 1. 知っている
- ☐ 2. 知らない

質問 13. 大規模な災害が発生すると、消防、警察、自衛隊などによる救援が行き渡ることが極めて難しくなり、地域の住民同士で、救助活動や避難所の運営を行うことが求められます。このような場合に備えて、普段からどのようなことが必要であると思いますか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に ✓ 印をおつけください。

- ☐ 1. 近所の人とあいさつをする程度の関係はつくっておくこと
- ☐ 2. 避難するのに支援が必要な人が誰であるか把握しておくこと
- ☐ 3. 住民同士で互いの家庭状況（家族構成・介護の必要等）についてある程度知っておくこと
- ☐ 4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
- ☐ 5. ハザードマップ等で地域の危険な場所を知っておくこと
- ☐ 6. 地域の災害時避難所を知っておくこと
- ☐ 7. 避難勧告・避難指示（緊急）などの意味を知っておくこと
- ☐ 8. 防災訓練に参加すること
- ☐ 9. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 10. わからない

質問 14. 防災に関する次の取り組みのうち、ご存知のものに ✓ 印をおつけください。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 大阪市地域防災計画
（自然災害に対して大阪市域で行政や事業者、住民の方が取り組むことを定めた計画）
- ☐ 2. 区防災計画
（お住いの区において区役所や事業者、住民の方が取り組むことを定めた計画防災計画）
- ☐ 3. 地域防災計画（お住いの地域において住民の方を中心に取り組むことを定めた計画）
- ☐ 4. 市民防災マニュアル（保存版）（平成 27 年春に全戸配布した防災啓発冊子）
- ☐ 5. 水害ハザードマップ
（津波や河川洪水により浸水が予想される場所・深さを示した各区别マップ）
- ☐ 6. 避難行動要支援者名簿（大地震や風水害などの災害が起きた時、自力で避難することが難しく、支援が必要な方の名簿。災害時における救出・救護に活用）

- ☐ 7. 福祉避難所（災害時において、高齢者や障がいのある方など、一般の避難所生活において特別な配慮を必要とする方々を対象に開設される避難所）
- ☐ 8. 津波避難ビル・水害時避難ビル（津波や河川氾濫から身を守るために避難するビル）
- ☐ 9. 大規模災害時協力事業所（地震・風水害等の大規模災害が発生した際に、災害対策に協力いただくことのできる企業・事業所）
- ☐ 10. 自主防災組織（防災という共通の目的をもって活動する地域の皆さんの集まり）
- ☐ 11. すべて知らない

【V 地域における見守りの取り組みについて】

質問 15. お住まいの地域においては、さまざまな形で高齢者や障がいのある方、子どもなどの手助けが必要な人や気がかりな人を対象とした見守り活動などがおこなわれています。次の見守りの取り組みのうち、あなたが知っている取り組みに✓をしてください。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 民生委員・児童委員による見守りの取り組み
- ☐ 2. 地域福祉コーディネーター※（地域福祉活動の推進役）などによる見守りの取り組み
※区ごとに名称が異なる（例：ネットワーク推進員、見守り推進員、地域支援相談員など）
- ☐ 3. 地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの取り組み
- ☐ 4. 「見守り相談室」による取り組み
- ☐ 5. 児童の登下校時の見守りの取り組み
- ☐ 6. 弁当の配食時に安否確認する取り組み
- ☐ 7. 集会所などで食事会などを催し、地域交流の深める取り組み（例：ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン、子育てサロンなど）
- ☐ 8. 身近な地域で開催される運動や体操などの取り組み
- ☐ 9. ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス
- ☐ 10. 電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取り組み
- ☐ 11. すべて知らない

質問 16. 大阪市では、ともに支えあって暮らし続けられる地域づくりを進めるために、質問 15 の選択肢のような手助けが必要な人や気がかりな人を対象とした地域における見守り活動がさまざまな形で実施されていますが、このような地域における見守り活動について、あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 安心して暮らし続けるためにはとても必要なことだと思う
- ☐ 2. 必要なことだと思うが、まだ必要性が実感できていない
- ☐ 3. 必要だとは思わない

【VI 相談支援体制の充実に向けて】

質問 17. あなたが生活する上で困っていること、悩んでいること、または不安なことはどのようなことですか。（3つ以内に✓印をおつけください。）

- ☐ 1. あなたやご家族の健康のこと
- ☐ 2. 日常生活のこと（食事づくりや買い物など）

- ☐ 3. あなたやご家族の老後のこと
- ☐ 4. 子育てや子ども、孫の将来のこと
- ☐ 5. 家族の人間関係のこと
- ☐ 6. 地域での人間関係のこと
- ☐ 7. 困りごとなどを相談する人（機関）がないこと
- ☐ 8. 仕事や年金などの収入のこと
- ☐ 9. 土地や家屋、預貯金などの管理のこと
- ☐ 10. 地域の治安のこと
- ☐ 11. 地域の生活環境のこと
- ☐ 12. 火災や地震などの災害のこと
- ☐ 13. 社会の仕組み（法律、年金や健康保険など）が変わること
- ☐ 14. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 15. 特に困っていること、悩んでいること、または不安なことはない

質問 18. お住まいの地域で困っていること、悩んでいること、または不安なことを家族や親族以外で相談できる人（機関）はいますか。

- ☐ 1. いる
- ☐ 2. いない

〔質問 18 で「1. いる」と答えた方にお聞きます。〕

質問 18-1. 家族や親族以外で相談できるのは次の人（機関）のうちどれですか。すべてに✓印をおつけください。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 友人・知人・近所の人
- ☐ 2. 民生委員・児童委員
- ☐ 3. 地域福祉コーディネーター（地域福祉活動の推進役）
※区ごとに名称が異なる（例：ネットワーク推進員、見守り推進員、地域支援相談員など）
- ☐ 4. 町会・自治会・地域活動協議会・地域社会福祉協議会などの地域団体
- ☐ 5. 区役所・区保健福祉センター
- ☐ 6. 区社会福祉協議会
- ☐ 7. 見守り相談室
- ☐ 8. 地域包括支援センターや総合相談窓口（ブランチ）
- ☐ 9. 障がい者基幹相談支援センター
- ☐ 10. 病院、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師
- ☐ 11. ケアマネージャーや相談支援専門員、ホームヘルパーなどの福祉サービス事業者
- ☐ 12. その他（具体的にお書きください：_____）

質問 19. 生活に困りごとを抱えた方に向けて、相談支援員と一緒に考え、解決のお手伝いをする窓口が区役所に設置されていることをご存知ですか。

- ☐ 1. 利用したことがある
- ☐ 2. 知っているが、利用したことはない
- ☐ 3. 知らない

【VI 虐待防止の取り組みについて】

質問 20. 高齢者や障がいのある方、児童への虐待の疑いがある状況を発見した場合、通報（通告）しますか。あなたの考えにいちばん近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 必ず通報（通告）する
- ☐ 2. 場合によっては通報（通告）する
- ☐ 3. 場合によっては通報（通告）しない
- ☐ 4. 通報（通告）しない

質問 21. 虐待を通報（通告）する場合、どのような通報（通告）先をご存知ですか。あてはまるものに✓印をおつけください。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 区の保健福祉センター
- ☐ 2. こども相談センター
- ☐ 3. 児童虐待ホットライン（大阪市こども相談センターが実施）
- ☐ 4. 子どもの虐待ホットライン（児童虐待防止協会が実施）
- ☐ 5. 民生委員・児童委員、主任児童委員
- ☐ 6. 地域包括支援センター
- ☐ 7. 総合相談窓口（ランチ）
- ☐ 8. 障がい者基幹相談支援センター
- ☐ 9. 警察
- ☐ 10. その他（具体的にお書きください：.....）
- ☐ 11. 知っている通報（通告）先はない

質問 22. 虐待の通報（通告）をためらうとすれば、どのような理由からですか。あなたの考えにいちばん近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 虐待ではないかもしれないから
- ☐ 2. 通報（通告）したことを相手に恨まれるかもしれないから
- ☐ 3. 誰が通報（通告）したか相手に知られるかもしれないから
- ☐ 4. 虐待をしたという証拠がないから
- ☐ 5. 面倒に巻き込まれたくないから
- ☐ 6. その他（具体的にお書きください：.....）
- ☐ 7. 理由は特にない

【Ⅶ 成年後見制度等の利用促進に向けて】

- 「成年後見制度」とは、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、法的に権限を与えられた成年後見人等が、本人に代わって福祉サービスの利用契約や適切な財産管理を行うことで、その方の生活を支援する制度です。中には、「法定後見（判断能力の低下に応じて利用する）」と、「任意後見（将来の判断能力の低下に備えてあらかじめ契約しておく）」の二つの制度があります。
- 「市民後見人」とは、家庭裁判所から成年後見人等として選任された一般市民のことです。専門組織による養成・支援を受けながら、地域福祉の視点から身近な市民という立場で後見活動を展開する権利擁護の担い手です。
- 「あんしんさぽーと事業」とは、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方が、安心して地域で生活が送れるよう、本人との契約に基づき、お住まいの区の社会福祉協議会において、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理をお手伝いする事業です。

質問 23. 次のうち、あなたが以前からご存知だった制度等に✓印をおつけください。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 法定後見制度
- ☐ 2. 任意後見制度
- ☐ 3. あんしんさぽーと事業
- ☐ 4. 市民後見人
- ☐ 5. 知っている制度等はない

質問 24. あなたやご家族の判断能力が不十分となった場合、法定後見制度を利用したいと思いますか。

- ☐ 1. 利用したいと思う
- ☐ 2. 利用したいと思わない
- ☐ 3. わからない

〔質問 24 で「利用したいと思わない」を選んだ方にお聞きます。〕

質問 24－1. 利用したいと思わないのは、どのような理由からですか。

- ☐ 1. 制度のことがよく分からないから
- ☐ 2. どこに相談したらよいか分からないから
- ☐ 3. 費用が心配だから
- ☐ 4. その他（具体的にお書きください：_____）

質問 25. あなたやご家族の判断能力が不十分となる場合に備えて、任意後見制度を利用したいと思いますか。

- ☐ 1. 利用したいと思う
- ☐ 2. 利用したいと思わない
- ☐ 3. わからない

〔質問 25 で「利用したいと思わない」を選んだ方にお聞きます。〕

質問 25－1. 利用したいと思わないのは、どのような理由からですか。

- ☐ 1. 制度のことがよく分からないから

- ☐ 2. どこに相談したらよいかわからないから
- ☐ 3. 費用が心配だから
- ☐ 4. その他（具体的にお書きください：.....）

【Ⅷ. あなたご自身のことについて】

〔ご協力ありがとうございました。今までお聞きしたこと整理するために、あなたご自身のことなどをおきかせください。〕

A. あなたの性別について、あてはまるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 男性 ☐ 2. 女性 ☐ 3. その他、または、答えたくない

B. あなたの年齢について、あてはまるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 10 歳代 ☐ 2. 20 歳代 ☐ 3. 30 歳代
- ☐ 4. 40 歳代 ☐ 5. 50 歳代 ☐ 6. 60 歳代
- ☐ 7. 70 歳代 ☐ 8. 80 歳以上

C. あなたの職業について、いちばん近いと思われるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 会社員（団体職員）
- ☐ 2. 自営業
- ☐ 3. 公務員
- ☐ 4. パート、アルバイト
- ☐ 5. 学生
- ☐ 6. 専業主婦、主夫
- ☐ 7. 無職
- ☐ 8. その他（具体的にお書きください：.....）

D. あなたがお住まいの区に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 北区 ☐ 2. 都島区 ☐ 3. 福島区 ☐ 4. 此花区
- ☐ 5. 中央区 ☐ 6. 西区 ☐ 7. 港区 ☐ 8. 大正区
- ☐ 9. 天王寺区 ☐ 10. 浪速区 ☐ 11. 西淀川区 ☐ 12. 淀川区
- ☐ 13. 東淀川区 ☐ 14. 東成区 ☐ 15. 生野区 ☐ 16. 旭区
- ☐ 17. 城東区 ☐ 18. 鶴見区 ☐ 19. 阿倍野区 ☐ 20. 住之江区
- ☐ 21. 住吉区 ☐ 22. 東住吉区 ☐ 23. 平野区 ☐ 24. 西成区

E. あなたの世帯構成について、あてはまるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. ひとり暮らし（単身） ☐ 2. 夫婦のみ ☐ 3. 二世帯（親と子）
- ☐ 4. 三世帯（親と子と孫） ☐ 5. その他

F. 現在のお住まいでの居住期間について、あてはまるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 1 年未満

- ☐ 2. 1 年～5 年未満
- ☐ 3. 5 年～10 年未満
- ☐ 4. 10 年以上

大変お手数をおかけしました。
同封の封筒に入れて、ご返送ください。
ご協力ありがとうございました。